

6	単元名	3 課 学校	2 / 2
---	-----	--------	-------

1 単元目標 学校のある場所や生活場面で使う言葉が分かる

2 単元の指導内容（本時 2 / 2）

課	単元	指導内容	主な表現と語彙（例）	字
3	5	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な動作や場所を表す言葉 学校の施設を表す言葉 	「どこ？」 「ここ、あそこ」 「きて、みて、きいて」 学校探検（学校・校庭・体育館・音楽室）	さ・す・せ・そ
	6	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な動作や学校に関する言葉 物を借りる、見せてもらう言い方ができる。 	「かいて・よんで」 「かして・みせて」 「いいよ・だめ・いや」 学校生活（勉強・掃除・給食・休み時間）	た・ち つ

3 本時の指導目標

- 学習中によく使われる指示を表す言葉を理解して動くことができるようにする。
- 物を借りたり、見せてもらったりする際の言い方ができるようにする。

4 指導のポイント

- 「書いて・読んで」という指示を理解して文字を書いたり読んだりさせる。
- 物を借りたり、見せてもらったりする場面で適切な表現が使えるように指導する。
- 「給食・掃除」など、学校生活の様々な場面を表す言葉を覚えさせる。

5 アクティビティ（活動）の方法及び留意点

【活動】

- 文字を書くことを表す絵、本を読むことを表す絵を使って、教師が「書いて、読んで」と言い、児童・生徒が答えることを繰り返す。また、黒板の前でチョークを渡したり、絵本や教科書を指で示して、「名前を書いて」、「これ、読んで」「ここ、読んで」などと言い、児童・生徒に意味を理解させる。
- 消しゴムを忘れた絵を示し、隣の友達に「貸して」という言い方を教える。また、児童・生徒に「先生、消しゴムない。消しゴム貸して」や「先生、本ない。本見せて」と言って、願い事をする際の言葉を理解させる。要求に応えられるときには、「いいよ」、応えられないときには「だめ、嫌」の言い方も教える。役割を交替して、発話に慣れさせる。

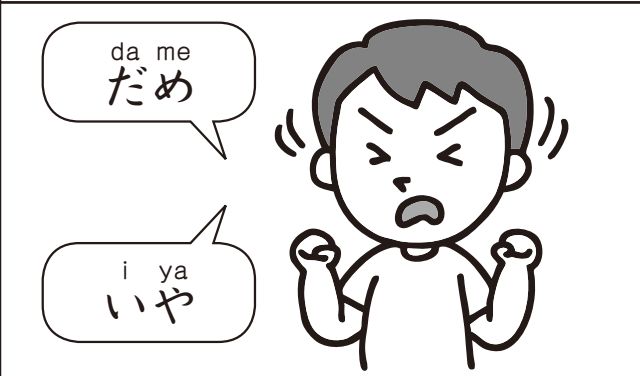
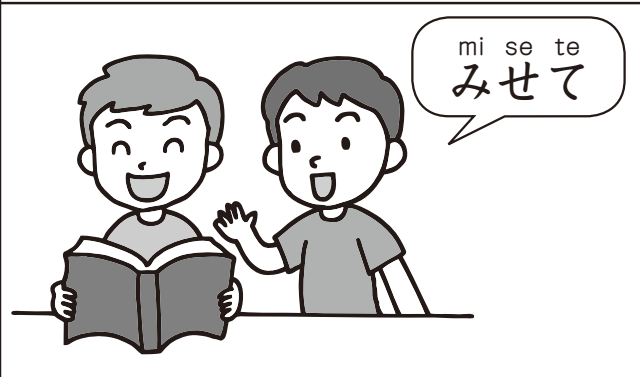
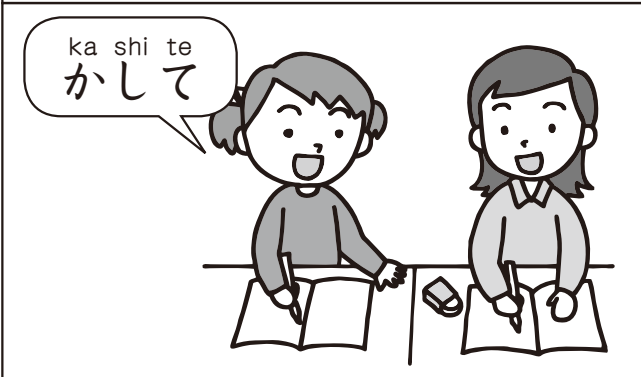
【留意点】

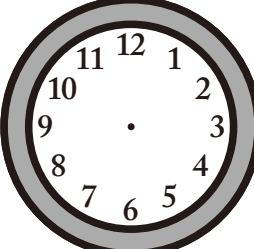

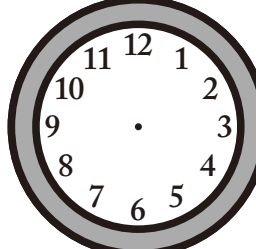

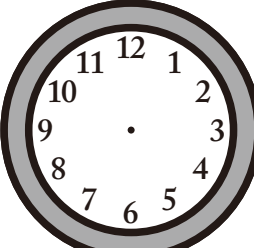

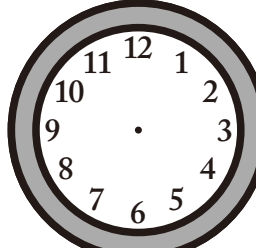

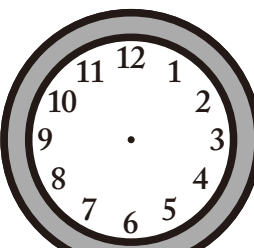

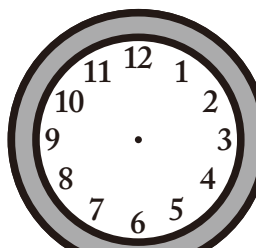

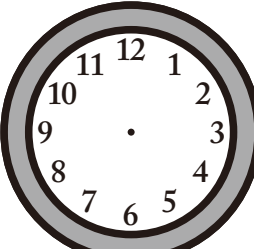

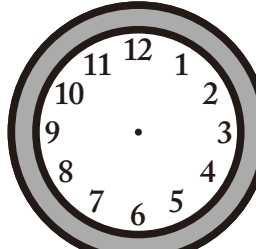

- 「つ」の発音は、日本に特有で外国人にとって大変難しい発音である。「くつ」が「くす」になったり、「くちゅ」になったりすることがある。発音指導については、厳しく繰り返す修正を促す指導が児童・生徒の学習意欲を低下させる場合があるので、教師の後について数回発音練習をさせる程度にとどめる。

6 本時の展開

	学習内容	指導内容等	留意点・教材
挨拶	始めの挨拶 前時の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・始めの挨拶をする。 ・「どこ?」「ここ、あそこ」「きて、みて、きいて」など 	
活動1	表現① 「かいて、よんで」 「かして、みせて」 「いいよ」 「だめ、いや」	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を使い、その動作を理解させ、復唱させる。 ・黒板やノートを指で示し、「あを書いて」と言って指示し、意味を理解させる。 ・本を指で示し、「読んで」の言い方を理解させる。 ・児童・生徒の持ち物を手にとって、「貸して」や「見せて」と言い、意味を理解させる。 ・「いいよ」「だめ、嫌」という答え方を理解させる。 ・教師と児童・生徒で役割を交替しながら練習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板などに絵や文字を書かせたり、それらを読ませたりすることで、「書いて」「読んで」の理解を促す。
活動2	表現② 学校の日	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の様々な場面の絵を提示し、ジェスチャーを交えながら意味を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の様々な場面の絵「勉強・掃除・給食・休み時間」を活用する。
活動3	文字 「た・ち・つ」	<ul style="list-style-type: none"> ・「た・ち・つ」の書き方を練習する。 ・「たこ・くち・つき・いち」など「た」「ち」「つ」を使った言葉の読み書きの練習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらがな練習帳や絵カードを活用する。
挨拶	終わりの挨拶	終わりの挨拶をする。	

7 教材・ワークシート (絵カード)



 <p>a sa go ha n あさごはん</p> 	 <p>k y ū sho ku きゅうしょく</p> 
 <p>t ô k ô とうこう</p> 	 <p>s ô ji そうじ</p> 
 <p>a sa no ka i あさのかい</p> 	 <p>ge k ô げこう</p> 
 <p>ju gō yō じゅぎょう</p> 	 <p>shu ku da i しゅくだい</p> 

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30